

◆着色難品種の着色向上収穫前管理について

着色難な品種は、しっかりと着色管理(葉摘み・反射シート)を行う。

◆第12回薬剤散布について(お盆前後に収穫になる品種以降)

1. 散布時期:7月22日(火)~26日(土)

実際散布日記入 月 日

2. 調 合 量: 水100ℓ 当り ※混用順に記載。

※収穫中の品種に飛散しないよう十分注意する。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
(展着剤まくぴか)	10mℓ	—	—
ベルコートフロアブル	50mℓ	灰星病	3日
ⓂイカズチWDG	66g	シンクイムシ類	前日

3. 散 布 量:10a当り⇒400ℓ

4. 留意事項

- ①収穫直前の品種は、定期薬剤散布に代えて収穫前薬剤散布を行う。
- ②果実の汚れを防ぐため、なるべく細霧にして、すぐに乾く時間帯で散布する。
- ③通常、この時期からは農薬による汚れや果粉溶脱を軽減するため展着剤を使用しないが、シンクイムシ類・灰星病の発生が多く、薬液をしっかりと付着させたい場合は、展着剤を「まくぴか」10,000倍を使用すると、均一に付着しやすくなり、乾きが早まるため、液だまりが減少する。
- ④ベルコートフロアブルは収穫3日前までなので、収穫中・収穫直前の品種にかからないようにする。
- ⑤ハダニ類の発生が心配される場合は、第12回又は13回どちらかに1回のみダニオーテフロアブル2,000倍(水100ℓ当り50mℓ・収穫前日まで・年間1回まで)を加用散布する。

◆収穫前薬剤散布について ※収穫直前の品種に必ず行う。

降雨による腐敗果、高温によるシンクイムシ類の発生が増加するため、収穫前の防除を徹底する。

1. 散布時期:収穫開始2日前

実際散布日記入 月 日

2. 調 合 量:水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
オンリーワンフロアブル	50mℓ	灰星病	前日
(Ⓜスカウトフロアブル)	50mℓ	シンクイムシ類	前日

3. 散 布 量:10a当り⇒350ℓ

4. 留意事項

- ①「収穫前日まで」となっている農薬は、収穫24時間前までに散布が終了する事を意味する。
- ②シンクイムシ類の発生が心配される園は、スカウトフロアブル2,000倍を加用散布する。スカウトフロアブルに代えて、ディアナWDG5,000倍(水100ℓ当り20g/収穫前日)を使用してもよい。